

よなぽん通信



米子市立図書館をもっと
知る！つかう！楽しむ！
情報 Paper

2024.4 Vol.1

べんりな図書館情報をお届けします！



このたび、米子市立図書館のレファレンスサービスをはじめ、様々なサービスのご紹介や情報を発信する「よなぽん通信」を発行することとなりました。「よなぽん」とは、米子市立図書館のマスコットキャラクターの名前です。よなぽんと一緒に、米子市立図書館を「もっと知る！つかう！楽しむ！」情報をお届けしていきますので、どうぞよろしくお願い致します！

あげなこと、こげなこと、
いろいろ紹介す〜で〜！



ご利用ください！レファレンスサービス！



「レファレンスサービス」(資料相談)とは、図書館司書が利用者のみなさまの調べ物をお手伝いするサービスのことです。「米子のこんなことを知りたい」「花の名前を調べたい」など、図書館には日々様々なご相談が寄せられます。米子市立図書館2階レファレンスカウンターでは、調べ方のご案内や、一緒に調べるお手伝いをしています。お気軽にご相談ください！

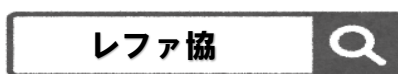


便利です！レファレンス協同データベース



米子市立図書館にこれまで寄せられたレファレンス事例は、「国立国会図書館レファレンス協同データベース」に掲載しています(個人情報に関することは掲載しておりません)。このレファレンス協同データベース(レファ協)とは、全国の図書館で日々行われるレファレンスサービスの記録や情報の調べ方を図書館員がデータベースに登録し、そのデータをインターネットを通じて皆様に提供するサービスです。情報の信頼度がとても高く、読み物としても楽しいのが特徴です。米子市立図書館の事例も多く掲載されています。ぜひご活用ください！

<https://crd.ndl.go.jp/reference/>



これまで寄せられたレファレンス



今回ご紹介した
レファレンスはレファ
協にも掲載中です！

米子市立図書館にこれまで寄せられたレファレンスをご紹介します！

Q1 バッタのつかまえ方を知りたいです。

近所の公園で、なかなかバッタをつかまえることができないという未就学児さんからのご相談でした。一緒に児童室にある昆虫の棚（486）に行き、本を探しました。以下の本にバッタのつかまえ方について掲載されていました。バッタ、うまくつかまえることができたかな？



□『むし くらしとかいかた』（ひかりのくに 1997）P.30に「ばったつり」の方法が掲載されていました。P.35にはカマキリのつかまえ方の説明がありました。

□『今森光彦の昆虫教室 とりかた・みつけかた』（今森 光彦／作、廣野 研一／絵 童心社 2013）P.28「バッタをとろう」にとりかた、もちかた、もちかえりかたの説明が写真付きでありました。



Q2 大山がなぜ別名「角盤山」と呼ぶのか知りたい。また、鳥取県米子市にある角盤町はこの角盤山とつながりがあるのか知りたい。

大山の別名「角磐山」は修験道に由来し、「大山寺縁起」に出てくる「天から降ってきた岩」という説話の中で、天から落ちてきた磐（いわ）が3つに割れ、一つは熊野山、もう一つは金峰山、最後の一つが大山だったことに由来し、大山を「角磐山」と呼ぶようになったとあります。この3つの山は修験道の信仰の山で、かつては修験道でつながりがあったのではと考えられています。また、米子市にある角盤町は大山を望む町として「角盤町」という名が付けられたと考えられています。



～参考文献～

- 『大山・石鎚と西国修験道』（名著出版 1979）「二、大山信仰の起源」 P. 40
- 『大山寺縁起』（稲葉書房 1971）「大山寺縁起巻上」 P. 9
- 『祈りの山大山』（杉本良巳，鷺見寛幸／共著 2012）
- 『五来重著作集第六巻 修験道霊山の歴史と信仰』（五来重／著 法蔵館 2008） P. 291
- 『角川日本地名大辞典 31 鳥取県』（角川学芸出版 2009）「角盤町」 P. 213～P. 214



『角川日本地名大辞典』全51巻（角川学芸出版 2009）

地名の由来と沿革、その歴史が詳しく掲載された地名辞典です。鳥取県は31巻に収録されています。50音順に地名が配列され、巻頭に難読地名索引、巻末に小字一覧、市町村沿革表があります。山や川などの自然地名、道路や街道などの人文地名も豊富に収録されています。